

～ 伝統は永遠の流行～

Shi ro ta

し ろ た

「賢く 優しく 遅く」

自分で考え

行動できる子ども

千代田中部小学校

R5年度 第20号

令和6年 1月31日

文責 校長 平山 忠直



雪だ！

暖冬だといわれた今期ですが、昨年末（12月22日）と今月24日にしっかりと雪が降りました。あわや休校かと、天気予報とにらめっこしておりましたが、主要公共機関も一部を除いてほぼ平常運行されこともあり、通常登校となりました。思っていた以上の積雪に、子どもたちのテンションも上がったようです。朝の登校で、何を抱えてきているのかと思えば、大きな雪の塊。みんな大事そうに抱えて。見ているだけで、楽しかったです。さぞや重かったでしょうに、こういうときはなぜかみんな平気な顔するんですね。



命とは何か～神様 あと3年間時間をください～

「命とは何か」

そう問われたら、私たちはなんと答えるでしょうか。

1月23日の6年生の授業参観では、元校長 村岡智彦さんをお招きして、「命について考える授業」をしていただきました。村岡さんは、今年80歳。私（校長）が25年前、2校目に勤めた学校の校長でした。（ここからは村岡先生と書きます。）以来、25年間お付き合いが続いている先生です。20年前に大病を患われ、一時は死を覚悟されましたが、奇跡的に復活を遂げられ、あれから20年の時が過ぎました。

『神様、あと3年間時間をください。』

闘病中、天井を見上げるベッドの上で考えたことは「死の恐怖」ではなく、残された家族のことばかりだった。当時、まだ中学生だった次男さんが、せめて高校に行くまではと必死に神様をお願いされたそうです。

退職されて20年、自分が動けるうちはと、あちこちの小学校で、「命を考える」授業をして回られています。これまで新聞にも何度か記事が掲載されたこともあります。授業数日前の事前の打ち合わせでは「メモは取らせなくてよい。ただ、このじいさんの話を聞いてもらえればよい。少しでも何か感じてくれればよい。」と言われ、当日を迎えました。私（校長）は、村岡先生の人となりや背景を知っていますが、何も知らない子どもたちや参観されている保護者に、どれだけ伝わるのだろうかと思っていました。しかし、その心配をよそに、6年生の子どもたちは、じっと村岡先生の話に耳を傾け続けてくれました。うっすら涙ぐんでくださる保護者の方もいらっしゃいました。村岡先生の「伝えたい」という本気の思いは、届いたように思います。

この日、他の学年でも、今年度最後の授業参観が行われていました。同じ時間に、4年生は「育ててくれてありがとう会（いわゆる『二分の一成人式』）」の取組が行われており、4年生の子どもから招待状をもらっていた私は、6年と4年の教室を行ったり来たりしていました。

『一億人の人に 一億の母あれど 我が母にまさる 母なし』

村岡先生の授業の中で、出てきた言葉です。命の大切さを考えるとき、親が子を思う心、子が親を思う心に勝るものはないと。4年生の子ども達が、親御さんの前で一生懸命発表する姿、それを温かく見ている保護者。生きていることが当たり前で「死」など全く考えていないであろう4年生の子ども達が、とてもまぶしく見えました。

授業参観

たくさんのご参観ありがとうございました



←6年生「命を考える」授業より



←↑4年生「育ててくれてありがとう会」より

明るい町づくり～よりよい神崎市にするために～

1月27日(土)の午前中に神埼中央公民館にて、「神崎市青少年主張大会」が開催されました。6年生 槇ちひろさんが、千代田中部小代表として主張発表をしてくれました。タイトルは「明るい町づくり」。道ばたにゴミが落ちているような町は犯罪率が高い傾向にあることや印象が悪くなり人が集まらないことなどのニュースソースを根拠に、よりよい町づくりのために、一人一人ができることを小学生の視点で力強く主張してくれました。

トイレ休憩のとき、近くの初老の男性二人が、「世の中まだ捨てたものじゃないね」と話されていたのが印象的でした。



アナウンサーってやっぱりすごい

1月27日(土)の午後は、「アバンセ杯放送コンクール」が、佐賀市アバンセにて開催されました。こちらは、5年生 富田ゆうひさんとハ谷ゆうきさんがチャレンジしてくれました。アナウンス部門と朗読部門がありますが、二人ともアナウンス部門へのエントリーでした。壇上に出場者5名ずつが上がり、一人ずつ中央のマイクで、課題文を読み上げます。5名終えるごとの入れ替わりのとき以外は、観客のホールへの出入りもできないなど、厳粛な中での審査でした。さぞや緊張しただろうと思います。毎年4年生以上が応募できますので、みなさんも来年チャレンジしてみたいでしょうか。



2024年 よい年になりますように

1月、事務職員の志藤さんが、正面玄関に絵馬をかけられるようにしてくれていました。絵馬には、願い事や今年の目標を書きます。また絵馬を書いた人は「おみくじ」を引くことができます。おみくじめあてに、一人で何枚も絵馬を書いた人もいましたね。

期間は23日の授業参観までとして設置していたところ、たくさんの子供達も、絵馬を書いてくれました。その中からいくつか紹介します。(ひらがなで書かれていたものも漢字で表記しています)



- ・お父さんやお母さんが健康でいられますように(1年)
- ・ごはんがない人にごはんをあげたいです。(1年)
- ・世界が平和になりますように(1年)(6年)(不明)
- ・新1年生が泣かないで学校にきてくれるように(1年)
- ・全員が健康に一年間過ごせますように(3年)
- ・石川県がはやく復旧しますように(4年)
- ・能登半島の地震がなくなりますように(不明)



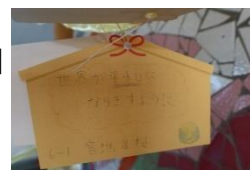
上に紹介したものの共通点がわかりますか。そう、自分以外の誰かのことを思い願っているものです。

2月の主な行事予定

- 『生活を振り返って、よりよくしよう』
- 2日(金) 読み語り(朝)
 - 5日(月) 委員会活動(新旧4～6年)
 - 8日(木) 6年生「防煙教室」
 - 9日(金) 縦割り遊び(朝)
 - 12日(月) ぐんぐん週間(～18日まで)
 - 13日(火) クラブ活動(3年生クラブ見学) SC来校(PM)
 - 14日(水) お話集会(昼)
 - 16日(金) 読み語り(朝)
 - 21日(水) 学年集会(昼)
 - 28日(水) 生活集会(放送)

校長のひとりごと

- 「頭がよくなりますように(うん、勉強してね)」
- 「かんじをおぼえられますように(漢字使おうね)」
- 「字をきれいにかけますように(これもね)」
- 「頭がボケませんように(まだまだ大丈夫)」
- 「大人になってニートになりませんように(……)」



絵馬に一人ツッコミを入れながら見てました。「恋愛がうまくいきますように」って、10年早い！
そういえば、最近の小学生は男女の仲が良いですね。私が小学生の頃、女子は敵でした。
本心とは裏腹に。